

JOMA 通信

Japan Overseas Missions Association



海外宣教連絡協力会
広報 No.59号

目指すべき目標

1. 目標が大切

4年ほど前にダイエットに挑戦しました。目標は、20キロ減。そして、16キロ減まで到達しました。それもわずか3ヶ月で。一度ゴールを定め、その目標に向かってダイエット食品を食べ、サウナスツを着て毎日30分のウォーキング。その後、腹筋、腕立て伏せ。もし、この時のゴールが10キロ減であれば、おそらく16キロ減までには到達できなかつたでしょう。最終的に20キロ減にはなりませんでしたが、16キロ減らすことができました。時には、ご馳走に負け、後で食べ過ぎたことを悔やむこともありました。もうやめようと何度も思いました。しかし、目標を持ちそれを継続したからこそここまでできたのです。

皆さんの教会には目指すべき目標があるでしょうか？それはどのような目標でしょうか？目標を持つことで、それに近づく為の方法を考えることができます。むやみやたらと空を打つような努力にはなりません。聖書は、教会の果たすべき使命として世界宣教を語っています。(マタイ28：18～20)。その目標に到達する方法はそれぞれの教会で違うかも知れませんが、ともにこの目標からはずれないように進んでいきたいものです。

2. 4つのパス

大宣教命令の中には、4つのパス(ギリシャ語の「すべて」)があります。

① 18節「私には天においても、地においても、いっさいの権威が与えられています。」

この「いっさいの」という意味は、「全部の、すべての、あらゆる、あらん限りの、いつも欠けがない」という意味です。自分自身や自分の所属する教会を見ると、「果たして、この命令が実現できるだろうか。」と思われる方がおられるかもしれません。しかし、私たちがこれほどの権威を持っておられるイエス様により頼むならその実現は可能なのです。

JOMA 役員 内村 保

(日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団海外伝道部)

② 20節「私は、世の終わりまで、いつも、あなた方と共にいます。」

すべての権威が与えられたイエス様が、「全部の、すべての、あらゆる、あらんかぎりの、いつも欠けがない時」共におられるのです！苦労の時も、行き詰る時も、過去も、現在も、未来も、主が共におられるからこそ、この大宣教命令を守ることができます。

③ 20節「私があなた方に命じておいたすべての事を守るように彼らを教えなさい。」

私たちは、自分のできることだけでなく、人々に評価されることだけでなく、今の時代に合うことだけでなく、イエス様が命じられた「全部の、すべての、あらゆる、あらん限りの、いつも欠けがない事を」教え続けることを求められています。

④ 19節「あらゆる国の人々を弟子としなさい。」

あなたと同じ国(民族)だけでなく、イエス様が私たちを通して弟子としたい人々は「全部の、すべての、あらゆる、あらん限りの、いつも欠けがない人々」全世界で生きる人々です。

教会は、これら4つのパスを含んだ命令を自らの到達すべき目標としてしっかりと据える時に、力強く前進していくものと信じます。

3. もうひとつのパス

大宣教命令を実行していくためには、「一致」が必要です。ピリピ2：3には、「何事でも自己中心や虚栄からすることなく、へりくだって、互いに自分よりもすぐれた者と思いなさい」と書かれています。JOMAに加盟する団体、教団、教会が自分たちだけで完全と思うのではなく、他を自分よりもすぐれた者として、お互いを必要として、学び合っていきましょう。



世界の地域特集 3 イスラエル

「イスラエル民族、ユダヤ人へ伝道」

宮本 純子

エターナル・ラブ・イスラエル代表・宣教師

シャローム！世界の日時計であるイスラエルは、日本の四国ぐらいの小さな国です。十年前の人口は約六百万人でしたが、世界中に離散しているユダヤ人たちがたくさん帰還（アリヤー）している為、2006年度のイスラエル中央統計局の発表は705万人です。十年間で約百万人も人口が増えたことになります。首都エルサレムは、キリスト教、ユダヤ教、イスラム教の三大宗教の聖地です。

聖書の舞台はイスラエルであり、イエスはユダヤ人です。そして、聖書を読む度に、神様がイスラエルを永遠の愛で愛しておられることが痛いほど伝わってきます。私は、神様が愛しておられるイスラエルを愛し、ユダヤ人たちに福音を伝えようと決心しました。

1990年から毎年イスラエルのキリストチャーチで奉仕し、ユダヤ人に伝道してきました。また1993年からは、エターナル・ラブ・イスラエルの働きを開始し、露店商のストリート・ショップのユダヤ人や留学生やビジネスマンなど日本に滞在しているあらゆる在日ユダヤ人にヘブライ語のトラクトや聖書小冊子などで直接福音を伝えてきました。駅前や商店街などでアクセサリー等を販売している露天商の多くはユダヤ人です。

私はストリート・ショップのユダヤ人や留学生やビジネスマンなど、約三千人のユダヤ人の



方々に日本でも福音を伝えてきました。

また、私がイスラエルで奉仕してきたエルサレムの旧市街にあるクリストチャーチは、イスラエルの地でプロテスタント教会として最初に建てられ、また、ユダヤのために建てられた特別な教会です。150年以上の歴史を持っています。

ユダヤ人伝道には大変な迫害と靈的な戦いがありますが、イスラエルでは個人伝道や路傍伝道をしたり、日本で伝道してきたユダヤ人たちにイスラエルで再び連絡を取り、ユダヤ人集会を紹介したり、集会につながるようにフォローアップをしてきました。

しかし、イスラエルに行かなくても、日本にいてもユダヤ人伝道が出来るということをぜひ知してください。エターナル・ラブ・イスラエルでは、日本でユダヤ人がイエスと出会い、救われて、イスラエルに帰国してからも集会につながるようにする働きをしてきました。どうか、たくさんのユダヤ人が日本でもイエスを信



識字率 98% 公用語 ヘブル語、アラビア語 聖書のある言語
旧新約 7部分 2進行中 1

 **経済**
近代的な先進工業国家。膨大な防衛費、移民受け入れにかかる費用、深刻な水不足などが経済成長の妨げになっている。失業率 8.6%。平均年収一人あたり約200万円。

宗教

あらゆる宗教はその共同体の中において自由が与えられている。イエスをメシアと信じるユダヤ教徒は宗教団体としては認められない。ハレディーム（超正統派ユダヤ教徒）は小政党を通して政策を主張し、連立政権政府における影響力を保持している。これは改革派や保守派のユダヤ教徒の声を弱め、改宗禁止法案やメシアニック・ジューに対する迫害など、常に信教の自由を制限する圧力をかけている。彼らの多くは兵役を拒否するが、自分たちの組織に対する多額の公的資金を要求。迫害指数世界65位。

宗教	人口比	増加率
ユダヤ教	80.65%	+2.4%
イスラム教	14.60%	+2.7%
その他	2.50%	+5.2%
クリスチヤン	2.25%	+2.8%

* Operation World 21世紀版より一部抜粋・引用



じて救われますようにお祈りください。

イエスを信じるユダヤ人のことをメシアニック・ジューと言います。イエスが最初に伝道されたのは、ユダヤ人でした。ユダヤ人伝道は、二千年の長い歴史をもっていますが、この百年間で救われたユダヤ人の数は急速に増えています。現在、イスラエル国内のメシアニック・ジューは、約一万人います。メシアニック・コングリゲーション（集会）は、約85ヶ所です。

ユダヤ人伝道は、ユダヤ人をキリスト教に改宗させることではありません。ユダヤ人から受けた最高の賜物であるイエス・キリストを、彼らにお返しすることです。ユダヤ人も異邦人もイエス・キリストを通してでなければ救われません。イエスがイスラエルのメシアであることを、愛をもって謙遜にお伝えすることが大切です。

どうか、神様が永遠の愛で愛されているユダヤ人たちが一日も早く平和の君であるイエスを

信じ、ユダヤ人もアラブ人もすべての人が救われてイエスにある真の平和がエルサレムにありますようにお祈りください。

最後になりますが、小さな団体でしたが、JOMAに加盟させて頂けて本当に感謝でした。

エターナル・ラブ・イスラエルは、7月末で14年間の幕を閉じ、解散となりました。

一緒に宣教の実を結ぶための働き人がいなかつことが大きな理由でした。

海外宣教に遣わされる宣教師も大切ですが、その背後で祈り、支え、働く人も大切です。

日本の海外宣教の働きが主に豊かに祝福され、働き人が多く起こされ、宣教の実を結んでいきますよう心からお祈り致します。

皆様、本当にありがとうございました。

*יְהוָה יְהוָה + הַמֵּת יְלִבְשׁוּ
Следуйте за Иисусом
יְהוָה יְהוָה כְּמֵלֵךְ
Follow Jesus*

JOMA通信では特集を組み、世界各地域における宣教の状況と必要を順次お伝えしています。第一回目西ヨーロッパ、第二回目東ヨーロッパ、そして今回は北アフリカー中東地域から、イスラエルを取り上げました。次回は北アフリカー中東地域の他の国、あるいは西アジア地域を取り上げる予定です。事務局から原稿依頼をさせていただく他、各加盟団体からの記事を募集しております。北アフリカー中東地域、あるいは西アジア地域における宣教情報をお持ちでしたら、ぜひ事務局までお寄せ下さい。



2007年度役員紹介



会長：横山基生（OMFインターナショナル日本委員会）

副会長：内村保（日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団海外伝道部）

書記：関昌宏（チャーチオブゴッド国外宣教部）

会計：酒井信也（OM日本）

JEA担当：永井敏夫（日本ウィクリフ聖書翻訳協会）

オブザーバー：具志堅聖（JEA）

写真後列左から：具志堅、坂庭（事務局）、永井、関
写真前列左から：内村、横山、酒井

ドゥロス号船上で開催！ －地の果てにまで福音を－ JOMA世界宣教大会 報告

酒井信也 (OM日本 総主事)

日時・場所

- 5月13日(日) 7-9PM 福岡県福岡市、博多港
5月25日(金) 7-9PM 石川県金沢市、金沢港
6月10日(日) 7:30-9:30PM 新潟県新潟市、新潟港
5月から6月にかけて日本に寄港したOMの福音宣教船ドゥロス号の船上を会場に、福岡、金沢、新潟でJOMA世界宣教大会を開催した。

JOMAは一人でも多くの日本のクリスチヤン、教会、地域の方々に宣教の情報を提供し、チャレンジを分かち合い、共に宣教の担い手をなっていただきたいと願い、加盟団体の多様性と機動性を生かし、ともすれば都市圏に偏ってしまいがちな世界宣教大会を、積極的に地方で開催する試みを行っている。今回、ドゥロス号が地方都市を巡回すること、また文字通り世界中から来ている人たちから直接宣教地の情報が得られるという素晴らしい機会を生かし、ドゥロス号船内の集会場を利用して世界宣教大会を福岡、金沢、新潟の各地で開催した。

福岡ではJEA（日本福音同盟）総主事 具志堅聖師、金沢ではOMFインターナショナル日本委員会 総主事 横山基生師、新潟では日本ウィクリフ聖書翻訳協会 総主事 永井敏夫師がメインスピ



カーとして奉仕。各地での世界宣教大会には地元クリスチヤンたち50人から90人が出席。宣教メッセージとともに、ドゥロスクルーによる様々な国の紹介、証し、スキットを通して参加した方々に宣教のチャレンジが与えられた。

－各地の声－

－金沢－

岡田仰 (金沢独立キリスト教会)

世界各国のブース（国と文化の展示テーブル）での祈りが具体的で良かった。教会の皆さんにミャンマーや中央アジアのために祈りましょうと呼びかけていますが、現地のことがよくわからずには祈ることが多い。その国の文化と共に祈りの課題を見れば、具体的に祈れるようになります。

地域教会は世界の教会の一部ということは頭ではわかっていても、具体的にはイメージしにくいのではないかでしょうか。このような機会を通して世界でなされている様々な働きに触れると、世界の中にある教会、教会の働きは世界宣教なのだと意識が持てます。

メッセージやパントマイムなどを通してチャレンジが与えられました。このような機会は北陸と





各國別のブースで宣教地紹介、祈りが捧げられた

いう場所にはあまりありません。この点において北陸の教会にとってこの世界宣教大会は大変有意義なものでした。ともすれば視野が狭くなってしまう中、神の民としての世界の教会という意識を持つことができたのではないかでしょうか。他の国の文化やクリスチヤンに触れ、視野が広められ、そのことを心に留める。これは信仰生活にとってもとても大切なことです。自分がどんなに大変と思われる状況に直面していても、他の国のクリスチヤンの直面している状況を知る時、それは私たちに祈りへの動機付けを与えてくれます。

このような機会を与えてくださったJOMAおよび主に感謝いたします。



— 新潟 —

葛田直毅（インマヌエル新潟キリスト教会）

この年、2001年以来6年ぶりのドゥロス号の再来港という、新潟にとって思いもよらない好機が与えられ、主の聖名を崇め、心から感謝しています。お仕事の一端を担わせて頂いた者的一人として、与えられた特権に心から感謝しています。

ドゥロス号の来港は、一般の方々への伝道ということが主眼でした。新潟市は市町村合併もあって、かなり広い都市であるために、市内のクリスチヤンたちも、普段はなかなか一堂に会する機会はありません。また「世界宣教」という目的のために集まることもあまり多くはありません。この度の来港に合わせ、船上でJOMA世界宣教大会が開かれ、諸教会が集まり、共に主を讃美し、特に宣教への思いをもって祈ることが出来たことは

本当に幸いでした。

スケジュールの都合で、滞在期間の内、比較的早い日程であったことや、日曜日の夕刻であったために予定のあった教会もあり、出席者は願っていた数には届きませんでしたが、それでも66名の出席者が与えられ、感謝しています。またプログラムの面でも、全部の若者たちがいわゆる狭義の宣教師ではないため、プレゼンテーションも万全とはいえないかった面もありましたが、何より若者たちからの宣教地からの熱い「生の声」、「祈りの必要の訴え」を聞き、そのために50ヶ国以上の人々が心を合わせて祈る、という経験は新潟の教会にとって大きな刺激となり、恵みとなりました。今まで宣教のために祈る機会は無かったわけではありませんでしたが、このようなペンテコステの日を思わせるような形での祈りの機会はそう度々あることではないでしょう。

ドゥロス号の来港のような機会はそうあることではないと思いますが、世界宣教の働きに直接に接する機会として、何らかの形でこのような集まりが持たれることは、特に宣教の働きの次代を担う方々を育てる意味でも必要なことだと思います。

遠路お出で下さり、メッセージを取り次いで下さった永井敏夫先生にも心から感謝しております。一つ注文をつけさせて頂くとすれば、日本から送られた宣教師たちの働きについても、インパクトのあるプレゼンテーションがさらに加えられれば、より意義のある集まりとなることでしょう。

この度の世界宣教大会に感謝いたしますとともに、出席された当地の若者たちや、船の奉仕に接した多くの方々や子供たち、また世界宣教の実際的な働きに触れられた方々の中から、世界宣教のため、「選びの器」が作られ、送り出されるよう、なお祈り続けたく思います。



葛田先生は集会で通訳の奉仕をしてくださいました。感謝！



加盟団体の声

OMFインターナショナル日本委員会

OMFでは、ある程度の英語力がある方への様々な短期宣教(3週間～1ヶ月間)に関わるプログラムがあります。2008年3月中旬からは、フィリピン・ダバオ市へ宣教奉仕ツアーを計画しています。詳しい応募要項は後日ホームページ等に掲載されます。また、宣教に関わる集い開催を考えておられる方は、ご連絡下さい。

OM日本

5～6月のドゥロス号日本寄港は豊かに祝され、福岡、金沢、新潟で約10万人が船を訪れ、福音に触れることができました。まかれた種が芽を出し実を結ぶことができるようお祈りください。11月に予定されていたミャンマー孤児院支援ツアーは情勢の急変で取りやめになりました。一般民衆が物価高騰で生活に支障が出る中、さらに貧しい孤児院の子供達の生活が支えられるようお祈りください。来年春にツアーを再開する予定です。

チャーチ・オブ・ゴッド国外宣教部

チャーチ・オブ・ゴッド国外宣教部では1981年からメキシコへ宣教師を派遣しています。現在はメキシコ第二の都市グアダラハラでクリスチヤンスクールと教会形成に励んでいます。また主の導きのなか、アメリカ・シアトル郊外でも教会形成を目指して働きが進められています。主のデザインに沿った前進を願い戦っています。

日本ウィクリフ聖書翻訳協会

今夏は、異文化宣教セミナーを二箇所で開催しました。合計13名の受講生が与えられ、音声学、音韻論、文法、言語習得、異文化理解などの各科目を、日本ウィクリフのメンバーが担当しました。来年もこのセミナーを開催します。また、来年の3月17日から31日までフィリピン宣教地体験旅行を企画しており、参加者を募集中です。締め切りは12月20日です。詳細は事務局にお問い合わせください。

電話：048-466-3730

担当：兼次(ぬねつぐ) hiroe_kanetsugu@wycliffe.org

ミラノ宣教支援会

8/1(水)から5日間、第24回「欧州キリスト者の集い」がミラノで開催されました。「十字架のもとに」ガラテヤ6:14を主題聖句と致しました。11人の教職者によるメッセージに続いて、5回のスマートルグループでの分かち合いと祈りの交わりが持たれました。8/2本大会が始まる前に、内村伸之

宣教師の牧師就任の按手式が行われました。内村先生の母教会、シオンの群中野教会 石川学牧師による誓約、欧州各地の教職者による按手、韓国ミラノ賛美教会イム・ウンサン牧師の任職宣言、そしてJTJ宣教神学校中野雄一郎国際部学長から奨励を戴きました。感謝と共にご報告致します。この「集い」の写真、及びメッセージはミラノ宣教ホームページ<<http://mission-i.net/>>にアップされています、どうぞ、ご利用下さい。

JOMA世界宣教カレンダー

2008年版ができました。A3サイズ。送料実費負担で何部でもお分けしています。教会の皆さんに一枚ずつ配られてはいかがでしょうか?何百枚でもお送りします。壁に貼って、いつでも送り出している宣教師を覚えて祈ることができます。教会でも、個人でも、お気軽に必要部数と送付先住所をJOMA事務局までメールかFAXでお知らせください!



発行：海外宣教連絡協力会

発行者：横山 基生

住所：〒244-0842

横浜市栄区飯島町 2441-10

Tel.045-891-7769

Fax.045-894-2121

e-mail: jomaoffice@yahoo.co.jp

ホームページ：www.joma.mydns.jp

郵便振替：海外宣教連絡協力会

00160-7-106631